## 第36期第 4 回常任理事会議事録

日 時:2010年11月18日(木)13時30分~16時00分

会 場:日本気象学会事務室(気象庁8階)

出席者:新野,藤谷,石田,近藤,佐藤,中本,藤部,三上,余田,以上9名(常任理事現在数13名)

欠席者:岩崎,田中,中村,中島,以上4名 その他の出席者:鈴木,萩原,田沢(事務局)

## 議事

- 1. 第36期第3回常任理事会議事録の確認
- 2. 第36期第2回理事会議事録の確認
- 会員の加入・退会 新入会員10,退会3を全会一致で承認。2010年11 月16日現在、会員数3.920名で通常会員は1,096名。
- 4. 各委員会からの報告

庶務…転載許可.

- 1) 東京大学情報基盤センターデジタル・ライブラリ係から、佐藤陽祐、中島映至、井口享道、鈴木健太郎、2010:ビン型雲モデルを用いた東部太平洋における層積雲の再現実験。2010年度気象学会秋季大会講演予稿集、(98)、530 pp. を東京大学学術機関リポジトリにて保存・公開。
- 2) 岐阜大学図書館から, 樋口篤志ほか, 2003:琵琶湖プロジェクト2002年集中観 測 (Catch A Plume by SATS: CAPS):その概要。2003年度春季大会 講演予稿集, (83), 337 pp. と樋口篤志 ほか, 2003:無人気象観測機 (Aerosonde) による亜熱帯海洋上での大気境 界層観測, 2003年度春季大会講演予稿 集, (83), 354 pp. と玉川一郎ほか, 2003:GAME-Tibet 乱流観測に見る問 題点について、2003年度春季大会講演予 稿集, (83), 354 pp. と石田祐宣ほか, 2004: CAPS2003観測データを用いた接 地気層乱流の構造(1) 一高次相関量の 確率分布を中心として一。2004年度春季 大会講演予稿集, (85), 278 pp. と玉川 一郎ほか,2004:CAPS2002観測データ と CReSS による数値シミュレーション との比較。2004年度秋季大会講演予稿

集, (86), 237 pp. と 斎 藤 琢 ほ か, 2006:急斜面上に位置する常緑針葉樹林 における熱収支. 2006年度春季大会講演 予稿集, (89), 140 pp. を岐阜大学機関 リポジトリに登録.

• 後援名義等使用依頼受付.

名称:第60回理論応用力学講演会

- 1) 主催:日本学術会議機械工学委員会・土 木工学・建築学委員会合同 IUTAM 分 科会
- 2)期日:2011年3月8日(火)~10日(木)
- 3)場所:東京工業大学大岡山キャンパス (東京都目黒区)
- 4) 名義:共催

名称:第48回アイソトープ・放射線研究発表 会

- 1) 主催:日本アイソトープ協会
- 2)期日:2011年7月6日(水)~8日(金)
- 3) 場所:日本科学未来館(東京都江東区)
- 4) 名義:共催
- 気象研究ノート(2011~2012年)の出版及び SOLA(2011~2012年)のJ-Stage 登載役務 の入札を行い,それぞれ株式会社デジタルインプレッソと学術図書印刷株式会社が落札。

会計…2010年10月分の収支及び現預金検査報告。

天気…Vol.57 No.11 (2010年11月号) の掲載記事 と, Vol.57 No.12 (2010年12月号) 予定記事 の報告。

気象集誌…論文賞の選定結果について報告。 4編の 論文が選定された。

SOLA…投稿論文の処理の進捗について報告。 講演企画…2010年度秋季大会の報告。

> ・2011年度春季大会におけるリクルートブース の試験的導入と英語版 Web 掲載のための英 文化について全会一致で承認. リクルート ブースの詳細については委員会で検討する. また,大会投稿規程について議論した.

総合計画…評議員会のテーマについて議論した。 学会賞…推薦状況について報告。

地球環境…「地球温暖化の本」の出版について委員 会から提案があり議論した。

- コンソーシアム…2011年度春季大会におけるスペ シャルセッションの開催について報告.
- 気象災害…奄美地方の大雨について鹿児島で九州支部の講演会を開催する予定であることが報告された。また、今後風工学会との連携協力を進めていくことが報告された。

## 5. その他

- 1) J-STAGE のシステム変更について報告.
- 2) 日本学術会議の大型研究計画に関する動向について報告.
- 3) 日本学術会議 IAMAS 小委員会の報告。

- 4)地球惑星科学連合の大気海洋・環境科学セクションのセクション名変更について検討した。
  - 5) 地球惑星科学連合より提案があった気象集誌ロゴについての回答案について検討した。

## 平成22年12月13日

社団法人日本気象学会

 議長新野宏

 署名人藤谷徳之助

 署名人石田純一

2011年1月